

NPO法人

# 全日本語りネットワーク

〒376-0006 群馬県桐生市新宿1-4-33  
(Fax) 0277-43-8225 (振替) 00130-2-114808  
(E-mail) welcome@japankatarinet.jp  
(HP) http://japankatarinet.jp/

2017. 1. 28 発行

## ニュース

## 明けましておめでとうございます

藤木恭子 (NPO法人全日本語りネットワーク理事)

私は、理事17人の中の1人で、会員名簿の管理と会計の一部を担当して4年になります。

新年のご挨拶を申し上げようとして気付いたのですが、この新年号はネットワークニュース61号———ということは、これは年に4回ずつのペースで発行されていますから、ちょうど15周年になるのでは・・・と、創刊号を捜してみました。

ありました！ 2002年1月20日発行の第1号が。(これが手許にあるということは、私の会員歴は15年以上に・・・！)

全日本語りネットワークの前身である「全日本語りの祭り実行委員会」は、その10年前(1992年)に立ち上げられ、すでに充実した活動を重ねていました。その活動を「語りの祭り」だけに限らずに、「語りの祭り」と「テラブレーション」を中心に据えながら語りの文化のネットワーク作りを図っていきたくと、会の名称を変更して新たな組織としてスタートし、同時にニュースの発行も始めたのでした。

設立時の会員数は210名でしたが、15年後の現在は、嬉しいことに334名に増えています。2006年度からは、定期的にお話を楽しみ学習する「お話楽習会」も催されるようになりました。2010年度には、NPO法人となってその歩みを確実に進めています。

創刊当時の誌面には、「さまざまな語りの存在を認め合い尊重することで、語りの文化の多様さとその豊かさを分かち合おう」という熱い思いがあふれています。

「第13回全日本語りの祭り in 松江」が終わったばかりですが、さまざまな個性を認め合い尊重し合うことのできるあたたかな世界を共有しようという思いは、今も受け継がれていると思いました。傲慢で不寛容な世の中に傾きつつあるのではと心が痛む今、語りの持つ力、語られる言葉、そして語りを楽しむ人々を一層大切にしていきたいと思います。

語りは人と人が互いに向き合って言葉を交わすことから始まります。聞き手と語り手が会う場を設ける、つなぐという活動はこれからもますます必要になっていくでしょう。私自身、ここまで続けてこられたのはたくさんの人との出会いがあり、手を差し伸べ背中を押してくれる仲間がいたからで、周りの人にどんなに助けられたかわかりません。ネットワークがそういう力になればいいなと心から願っています。

そして会員がさらに増えて、ネットワークがより一層広く張り巡らされますように！今年もどうぞよろしく願い申し上げます。

